

あなたに寄り添う心のハーモニー

放送日：令和2年6月8日～

「男女共同参画」

丹波ゆめタウンの2階にある「男女共同参画センター」からお伝えします。

「男女共同参画センター」は、昨年10月、丹波ゆめタウンの2階、「市民プラザ」の中に、オープンしました。男女共同参画社会をすすめる拠点として、また、市民のみなさんの活動を応援する拠点として、スタッフが常駐して、相談に応じています。

ところで、「男女共同参画」という言葉をご存じでしょうか。

「男性とはこういうもの、女性はこうあるべき」と、日常生活の中で、なんとなく性別によって縛られていると感じたことはありませんか？いわゆる「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別によって役割を分担する考え方は、まだまだ根強く残っています。

性別によって行動や生き方を制限されることなく、責任を分かち合いながら、自分の個性や能力を発揮し、誰もが自分らしい生き方ができる社会、それが、「男女共同参画社会」です。男性にとっても女性にとっても、生き方を考える上で、とても大切な考え方です。

また、最近の社会では、女性が組織でリーダーシップを発揮したり、男性が家事や育児に参画するための様々な仕組みが整ってきています。一方で、女性に比べ、男性の育児休暇の取得が圧倒的に少ないなど、仕組みを活用されていないケースがあり、それらが十分に利用されるためには、私たち一人一人の意識が変わることも必要です。

そんな男女共同参画社会をめざすため、毎年、6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」として、全国各地で様々な取組が行われます。

国が発表した、今年度の男女共同参画週間のキャッチフレーズを2つ紹介します。1つ目は『そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。』、2つ目は『ワクワク・ライフ・バランス』です。

医療の発達や栄養状況、衛生環境の改善により今や「人生100年時代」ともいわれています。自分らしい充実した人生を送るためには、今、普段から「仕事」や「家事・育児・介護」、「学び」、「趣味・娯楽」などにどのように時間を使ってバランスをとるか、考えていくことが必要となります。

『ワクワク・ライフ・バランス』みんなが自分らしい生活を送れるように、家族や地域、社会はそれをどう後押ししていくのか。この男女共同参画週間を機会に、わたしたち一人ひとりがどうすればいいのか考えてみましょう。

